

帯広葵学園 療育型施設「あおいとりプラス」

【音更】学校法人帯広葵学園（上野敏郎理事長）は6月1日、「療育たいせつ型あおいとりプラス緑陽台教室」（町緑陽台仲区35ノ5）を開設する。児童発達支援と放課後等デイサービスの機能を兼ね備えた場所で、学校法人による運営は十勝で初めて。発達に遅れのある子どもを対象に個別対応型の療育、教育支援を行う。



6月1日に開設する「あおいとりプラス緑陽台教室」とスタッフ

児童の発達障害個別支援 放課後デイサービスも

教室名は、財団法人「子どもの未来をひらく父母の会」が子どもの専門病院を設立する資金集めの一環で販売した「青い鳥マッチ」に印刷されるシンボルマーク「青い鳥十字」が由来。同法人が運営する緑陽台保育園の南側に位置する木造平屋の賃貸物件「グランデ

イール緑陽台」の1室（81・15平方メートル、3LDK）を借り上げ、開設に向けた準備を進めている。

児童発達支援は2歳から就学前、放課後等デイサービスは小・中学生を対象とし、利用を希望する家族の相談を受けて作成した個別支援計画に基づく支援を行

う。具体的には、木のブロックをひもに通したり、イラストを見て文字を並べ替えたりする簡単な遊び、外に出ての運動、教材を使った勉強などその子に見合った目的環境を提供する。同教室のサービス管理責任者は、帯広市教育委員会の心

の教室相談員を務めた村上敏克さん（66）をはじめ、幼稚園や小学校教諭の免許などを持つスタッフが4人体制でサポートに当たる。利用できる時間帯は異なる。定員は1日10人。1回のサービスは1時間。自宅までの送迎あり（放課後等

デイサービスは学校への出迎えと給食付き）。休みは日曜、祝日、お盆、年末年始。利用料は国が定めるサービス利用料金表に準拠する。見学も受け付けている。申し込み、問い合わせは同教室（0155・66・5524）へ。（小縣大輝）

2016年(平成28年)5月30日(月曜日)

十勝毎日新聞